

## 寝屋川民報

議会版

発行  
日本共産党  
寝屋川市議会議員団  
824-1181  
(内線2399)  
Fax No. 824-7760  
Email: jpcncc@ccnet.or.jp  
No. 1959

田中 ひさ子  
国松町10-36  
☎823-1714

寺本 とも子  
豊里町38-1-105  
☎829-9424

中林 かずえ  
宝町4-33  
☎839-2289

中谷 光夫  
高宮155-8  
☎823-5947

松尾 信次  
下木田町12-6  
☎821-7427

## 9月議会が11日からはじります

## 一般質問は20日~22日の予定

## 9月定例会日程表(案)

月日	曜	会 議	時間
11	月	本会議(第1日)	10時~
12	火	厚生・文教常任委員会	10時~
13	水	総務・建設常任委員会	10時~
19	火	議会運営委員会	10時~
20	水	一般質問(第2日)	10時~
21	木	一般質問(第3日)	10時~
22	金	一般質問(第4日)	10時~
26	火	議会運営委員会 本会議・最終日	9時半~ 10時~

条例は、①監査委員  
人口25万人未満の市は  
原則2人を、ただし書  
き規定による条例化  
で、3人に。②障害者  
自立支援法の地域生活  
支援助法の開始に伴  
う、総合福祉センタ  
ーと国守障害福祉セン  
ターの条例改正。③障  
害施設の利用形態が措  
置制度(応能負担)か  
ら契約制度(応益負担)  
に変更する等に伴う、

療育・自立センター条  
例の改正。④健康保険  
法及び児童福祉法の改  
正に伴う、老人医療費  
の助成に関する条例等  
の改正。⑤国民健康保  
険法及び同法施行令の  
改正に伴い、現役並み  
所得の70歳以上の医療  
窓口負担を2割から3  
割に、出産育児一時金  
を3万円から35万円  
に。⑥豊島東地区防災  
街区整備地区計画の区

域内における建築物等  
に関する条例の制定。  
⑦住居表示実施に伴う  
改正等になっていま  
す。  
寝屋川社会保険推進  
協議会の請願について  
は、12日(火)の厚生  
常任委員会、文教常任  
委員会が審査される予  
定です。

日本共産党は、この  
問おこった「寝屋川  
市政についてー市民ア  
ンケート」の集約、分  
析を生かして一般質問  
に臨みます。  
財界主導の競争万  
能、格差広げる小泉政  
治の下で、市民のくら  
しの困難は増していま  
す。自治体本来の福祉  
増進の市政へ、がんば  
ります。

## 医療改悪で負担増

9月11日(月)から  
22日(火)まで、寝屋  
川市議会9月定例会が  
開かれます。5日(火)  
の議会運営委員会に提  
出された予定案件は、  
条例(9件)、補正予

算(5件)、請願(1  
件)となっています。  
追加案件として、人  
事(1件)、決算(8  
件)が予定されています。  
人事案件は、公平  
委員会委員の選任で

05年度(平成17年  
度)決算は、一般会計、  
6特別会計、水道事業  
会計について、10月  
決算審査特別委員会で  
審査される予定です。

「純情きらり」  
が大変好評で  
す。庶民の目から戦争  
を丁寧に描いています  
▼マスコミは、自民党  
の総裁選挙一色、政權  
党といえ異常な扱い  
です。どの候補者も、  
「個人」の尊重よりも  
「国家」優先。平和も  
人権・民主主義を基本  
とする憲法を、おし  
つけ憲法を攻撃し、自  
民党が掲げる「新憲法」  
制定を初めて公約しま  
した▼8月9日夜、初  
本町公園で寝屋川市主  
催の朗読劇がありました  
。市民の戦争体験、  
被爆体験をもとに脚本  
が作られ、市内の文化  
関係者の協力で、熱の  
こもった感動的な舞台  
でした。当日配付され  
た市内の戦争体験集の  
「あとがき」で、寝屋  
川市は今後も多くの情  
報提供をと呼びかけて  
います▼この間2本の  
映画、戦後も25000  
人の兵隊が中国山西省  
で3年間開つた歴史の  
生き証人奥村和一人の  
裁判と活動を撮った  
「蟻の兵隊」、広島  
長崎と、二度被爆した  
人々を撮った「二重  
被爆」を見ました▼「人  
間の尊厳」を根底から  
奪うのは戦争です。戦  
後は今も終わってない  
ことを実感します。戦  
なのに「戦争する国  
へ」、「愛国心」の強  
調が政権の動きで  
す。戦前の危険を考え  
させられた夏でした。

## 法律相談

とき:9月21日(木)夜6時半より  
ところ:市民会館第3・4会議室  
予約、お問い合わせは党市議団まで

## 視界

NHKの連続  
テレビドラマ  
「純情きらり」

# 24万市民の安全・安心の施策充実を 寝屋川社保協が請願提出

子育て・教育に支援策を  
高齢者・障害者に軽減策を

9月4日(月)、寝屋川社会保険推進協議会(近藤藤雄代表)が、1257筆の署名を添えて、「24万市民が安全で安心してくらせる施策の充実を求める請願」を、北野志郎寝屋川市議会議長に提出しました。

子育て・教育、高齢者・障害者のいずれの請願項目も、一つ一つがこれまでも関係者を中心に住民の多くが切実に行政に求めてきた内容です。

## 請願項目

(子どもの成長と安全を守る施策の充実を)

1. 乳幼児医療費助成制度を拡充すること。
2. 公立保育所の民営化をしないこと。
3. 公立幼稚園の廃止、民営化をしないこと。
4. 教育の一環として安全な学校給食を守るために、自校直営方式を堅持すること。
5. 学校現場に無用な混乱をもたらし、登下校時の安全にも不安がある学校選択制はやめること。
6. 30人学級の早期実現を国・府に働きかけること。

(高齢者・障害者が安心してくらせる施策の充実を)

1. 介護保険料・利用料の減免制度を実施すること。
2. 障害者自立支援法実施に伴い、障害者と家族が安心して必要なサービスが利用できるよう負担の軽減対策を講じること。
3. 国民健康保険証はすべての加入者に交付し、短期保険証や資格証明書の発行はやめること。
4. 国民健康保険料は、誰もが払いやすい保険料に引き下げること。

## 障害者家族連絡会が 対市緊急要望書

市内9カ所の障害者施設の寝屋川市民間障害者施設・作業所家族連絡会(上玉利 昭会長)が、市に「障害者自立支援法の全面施行に向けての緊急要望書」を提出しています。

この間、議会に対しても、要望実現へ理解と尽力を、と直接の訴えがありました。

「働くのに、給料よりも高い利用料は、あまりにも理不尽」、「日割り計算になって、施設運営が苦しくなり、子どもが熱を出しても施設に通っている」、

「グループホームに入っているわが子は重度。年金よりも高い費用で将来が不安。国の人件費は一人分。せめて、アルバイトの人件費を市が助成してくれ

たら」など、福祉行政の後退に、必死の思いが伝わってきました。

4月の実施からわずか半年足らず、厚生労働省も実態調査が明らかになるにつれ、是正を余儀なくされ始めています。

「会」の皆さんの話から、障害者福祉行政のすぐれた実績と歴史

を創ってきた寝屋川市への期待の強さを感じるとともに、過去と現在の行政の違いの大きさに、何とも言えない思いで聞きました。

寝屋川市民間障害者施設・作業所家族連絡会が馬場好弘寝屋川市長に提出した「障害者自立支援法の全面施行に向けての緊急要望書」の要望項目

1. 利用者負担軽減のために
  - ①利用者負担軽減について寝屋川市独自の軽減策を考慮してください
  - ②給食費への負担軽減のために、一部補助をしてください
  - ③グループホーム(ケアホーム)を利用しやすくするために、利用者の「実費負担」に対する軽減措置、特に家賃補助制度を創設してください
2. 安心して施設や事業が利用できるように、施設等に支援策をとってください
  - ①新報酬単価を現行水準まで引き上げるよう、国に働きかけてください
  - ②市独自の加算などの補助体制を実施し、施設運営を支援してください
  - ③グループホーム(ケアホーム)を安定した運営が図られるよう補助制度を作ってください
3. 寝屋川市の事業移行となる地域生活支援事業のうち、施設・利用者・家族の要望、意見を聞いて、地域活動支援センターのスムーズな移行と安定した運営への支援策を実施してください。並びに移動介護事業(ガイドヘルプ)は、個々の利用者のニーズに応じた支給決定を行い現行の利用水準を守ってください
4. (略)

## 議員日誌



中谷 光夫

ようやく朝夕は涼しくなり、暑さにバクを奪われ運れた日々です。人間の回復力は、孫の姿と声です。

この夏、フィンランドの教育についての学びの機会がありました。日本の教育基本法に学んだ教育改革から40年近くになります。日本の教育基法改悪の動きは歴史に逆らっています。